

忠隈宝満宮獅子舞【ただくまほうまんぐうししまい】



開催場所

飯塚市忠隈

宝満宮

開催日

10月11日・10月12日

毎年10月第2土・日曜日

【芸能の概要】

雌雄二匹の獅子が、太鼓、小太鼓、鉦、笛の囃子に合わせて舞う。衣装は白衣、赤袴、袴、白足袋、わらじ、白鉢巻、腕ぬぎ等をつけ、腕ぬぎ、袴は獅子の胴と同じ模様を使う。子供の太鼓打は廻り打ちともよばれ、子供の太鼓を順番に打っていく。

【芸能の特徴】

獅子舞の起源は不明だが、戦前から農家を中心に、五穀豊穡を祈念して、忠隈宝満宮秋の祭典に奉納していたといわれている。筑穂町の大分八幡宮の流れを汲んでいる。大戦中は休止。昭和29年頃、当時の長老の指導で復活したが、2年程で中止。昭和50年、宮総代会で獅子舞再興の話が持ち上がり準備に入る。昭和51年からは昔の例に倣い20箇所程で演舞していたが、昭和53年より忠隈全域で舞うようになった。平成10年頃から、小学校5年生～中学生による子獅子方が加わった。昭和50年の折、今井政久副館長が竹太鼓を考案した。

【使用する祭具・道具など】

大人獅子一対と子供獅子一対が交代で、重厚に舞う。
獅子行列の編成は、順に先導（獅子舞の幡）、榊、清道幡、猿田彦面、宝満宮鉦、五色旗、獅子、笛方、小太鼓、大太鼓、竹太鼓、シメンコ台等。

・アクセス

西鉄バス忠隈バス停より徒歩10分

・周辺の観光

馬見山キャンプ場、鎌田原遺跡、益富城自然公園
祇園祭（7月）ふれあいまつり嘉穂（11月）
献鮭祭（12月）

・近くの特産品

トマト、いちご、メロン、竹細工、漬物。

